

地域リーダー育成プロジェクト第5回学び合いの場 開催のご報告

- ◇日 時：平成29年11月25日(土)午後1時30分～午後4時30分
- ◇会 場：榛原文化センター3階中会議室、大会議室
- ◇参加者：58人(高校生19人、大人25人、視察者等14人)



第5回は、前回出た「プロジェクトの種」から1つ選び、具体的なプロジェクトをつくっていきました。牧之原市の友好都市である青森県三戸町や神奈川県秦野市の方々が見学にいっていただきました。土曜日でしたが、ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。また、今回の進め方を検討するにあたり11/15(水)のプレ会議にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

1 オープニング ～牧原ゆりえさん(一般社団法人サステナビリティ・ダイアログ代表)～



- ・ **前回まで**：第4回までに出た意見をまとめたところ、「住みたいまちを考える中でみつけた自分の気持ち(資料A)」「みんなが住んでみたいまちはこんなまち！(資料B)」に分類。(資料は別紙を参照)
- ・ **今回の目標**：①プロジェクトを作るとはどういうことかみんなで学ぶ。
②お互いのアイデアを膨らませ、助け合うプロセスを学ぶ。
- ・ **今回の過ごし方**：①話を止めて、個人で考える時間も大切にする。
②自分で選ぶ。
③きょろきょろする(話がわかりづらい時は、周りに書いてあるグラフィックを見る)



【下：絹村さんが地域リーダー育成プロジェクトの経緯をまとめてくれました。】



2 「プロジェクト」って何？(別紙を参照)

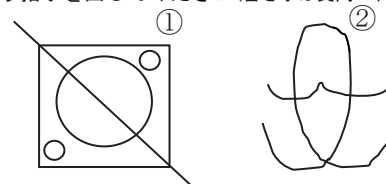
「まちを良くしたい」と思う自分が、仲間をつくりながら、プロジェクトを実施することで、まち(人、建物、組織、自然環境等)が良くなる。プロジェクトを通してまちが良くなり、自分も成長する。

3 聴くことを大切にするためのワーク ～2つのゲームを通じて～

- ・ **ゲーム1から**：同じ言葉でも、それぞれイメージしているものや意味するものは異なるので、理解し合う努力をしよう。
- ・ **ゲーム2から**：話す人と聞く人が助け合ってイメージを共有することが大切。②の方が難しいが①より楽しそうだった。人間にはよくわからないものを楽しくできる力がある。誰かが言った口〇△を綺麗に並べるではなく、わからなくても自分が良いと思ったものを選んでほしい。

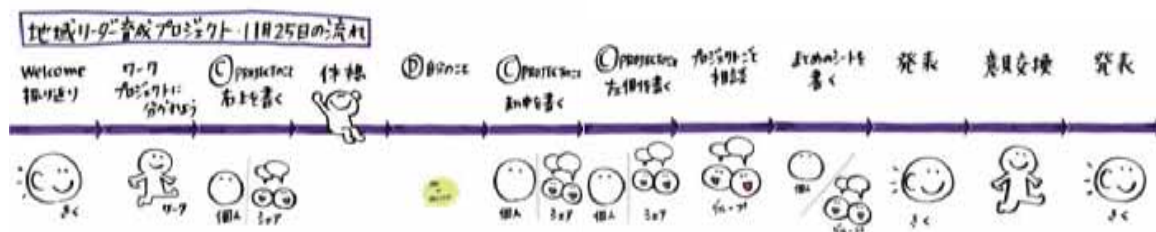
ゲーム1：言うことを絵で表してください。
「わぁ、お花が綺麗！」

ゲーム2：書き手(答えは見れない)が書けるよう指示を出してください(書き手は質問NG)



4 沈黙の時間について

- ・ 前回までに沈黙の時間を過ごす中で戸惑いの声も聞こえた。
- ・ 沈黙は1人で考え自分自身と話す時間。自分の声にゆっくり耳を傾けてほしい。



話す、聞く、個人、グループ…今は何をする時間なのか、その都度わかるようにしました。

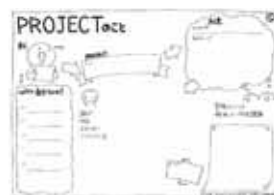


5 「プロジェクトの種」を選択しよう（別紙を参照）

全 15 の「プロジェクトの種」から自分が興味のあるものを選び、この日は 12 に分かれました。

6 自分のことを考えよう（「自分のこと」シート）

より良いプロジェクトをつくるためには、自分を知ることが大切です。自分の好きなこと、得意なこと、大切なこと、変えなくていい自分の性格などを個人でワークシートに書き、2人組で話しました。



7 プロジェクトのことを考えよう（「PROJECT のこと」シート）

選んだプロジェクトを実現できたときの具体的なイメージを個人でワークシートに書き、グループで共有しました。「なぜ自分はこのプロジェクトをやりたいのか」もグループで話しました。



8 各プロジェクトの内容を全体で共有 ～発表内容～



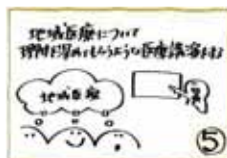
②高校の文化祭で地域リーダー育成PJの部屋をつくったり対話の場を開きたい。部活動も応援したい。



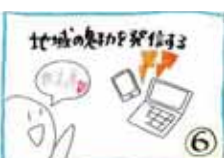
③外国人(ALT 等)、高校生、大人がつながり、お互いの言葉や地域を知れる会を開きたい。



④商店街や空き家を再利用して留学生と交流したい。その際に英語レベルの見え方をしたい。



⑤病院と地域が連携し、牧之原の地域医療の良さを伝えたい。地道にコツコツ、若者を育成したい。



⑥観光だけでなく文化、交通なども発信し、地元民が地元の魅力を再認識できるようにしたい。



⑦お茶(特産物)の情報発信をしたい。SNS 映えするものをつくりたい。交通の便が悪いのが課題。



⑧共通の知り合いを誘いながら、プロジェクトを作り合い、お互いの国で体験。やりたい人で輪を広げたい。



⑨根っこは対話を広げたい。その仕組みをつくりたい。市民ファシリタの価値を話し合っていきたい。



⑩話す場と情報を知る場が必要。共通の話題があると話せるので、スポーツや趣味のサークルを開きたい。



⑫自分を表現し快適な学校生活を送りたい。社会勉強も。守ることもきちんと行い、変えていきたい。



⑬何かしたいという気持ちはすぐに実現しないとしぼんでしまう。ワンクリック等「すぐ!」が必要。



⑭子どもが好きな人たちが休日に空き店舗や施設を使い、好きなことをしたい。みんなが楽しい時間を。



9 自由移動でプロジェクトを深めよう

他のプロジェクトの人と話したい人は移動して、もっと自分のプロジェクトの話をしたい人はそのまま話し合いを続けました。それぞれ、自分のプロジェクトをもっと良くしていくための時間を過ごしました。



10 自分のグループで1つのプロジェクトにまとめよう

プロジェクト内容を自分のグループで 1 つにまとめました。これからは、引き続き取り組むのもよし、他のプロジェクトに替えるのもよし、新しくプロジェクトをつくるのもよし! 「二本足の自由」です。

11 杉本基久雄市長からあいさつ

- 10月22日(日)の市長選挙で当選し、30日(月)から新しく牧之原市長になりました。
- 知らないで発信できないので、情報収集をきちんと行おう。できることから取り組むことが大切。まずは新聞を読むことから始めてみましょう。



第5回学び合いの場配布資料（10/25 第4回で出た意見の整理）

住みたいまちを考える中でみつけた自分たちの気持ち

2017年10月25日(水) 地域IT-カニ養成プロジェクト(対話の系図集-1)

日々心掛けた!! 実践した!!

- ・時間を大切にしたい
- ・健康でいたい
- ・ワークライフバランスを大切にしたい
- ・お金もほしい
- ・家で子育てをつくりたい
- ・定年や子育てを返しじゃない仕事にも取り組みたい

好奇心と 共にいたい!!

- ・資格をたくさんとりたい
- ・初めのこと大切に取組みたい
- ・いろいろな興味あるものを見つけた!!
- ・思っていることを実行する
- ・役割や責任を考える
- ・やりがいを感じたい
- ・好きなことをいかにしたい
- ・人を思いやるように
- ・自分をよく知りた

表現したい、伝えたい!!

- ・地元をPRしたい!!
- ・地元大好き人間に!!
- ・地元での知識を博士になりたい!!
- ・地域の魅力をいろいろな場所でPRできるようにしたい!!
- ・人前で堂々と話せるようにしたい!!
- ・自分の売身を言えるようにしたい!!
- ・表現力をつけた!!

話したい、視野を広げたい!!

- ・外国の友達と話したい!!
- ・外国のお母さんと話したい!!
- ・大人になっても友達と連絡をとりあいたい!!
- ・いろいろな人と話したい!!
- ・外国人に行きたい!!
- ・一人暮らししたい!!
- ・海外の大学へ行きたい!!

英語 / その他 外国語を学びたい!!

© 2017 (株) 牧之原市企画政策課

みんなが住んでみたいまちはこんなまち!

「私たちの想いを実現するために、あなたがやってみようと思うことは何ですか」から出てきた望むまちのイメージ

住みやすいを実現できる

- ・高齢者が住みやすい家で暮らせるまち
- ・高齢者が生きがいをもって生活できるまち

人とつながりが強い

- ・大人が楽しく住めるまち
- ・子ども大人も参加できる場所があるまち

健康でいられる

- ・県外の観光客が訪れるまち

言葉もこの町に必要なんだと感ぜられる

- ・海外の人と交流できるまち
- ・子供が外国語を学ぶ環境にあるまち

健康でいられる

- ・人が交流する場所があるまち
- ・お互いに声をかけられるまち
- ・年齢によらず立場によらずお互いに話をして意見交換ができるまち

交通の便がいいまち

- ・ここにしかない「何か」があるまち

誰でも利用できる緑があるまち

© 2017 (株) 牧之原市企画政策課

【プロジェクトの種】



第4回(10/25)までの対話で出た声から行動(プロジェクト)が生まれ、身の回りの環境や地域社会が良くなる動きが広がったらいなと考えています。以下がプロジェクトになりそうな意見(=プロジェクトの種)です。各自で「やってみたい」「話してみたい」と思うものを1つ選び、深めたいと思います。

- 1 自分の住むまちの高校生を全て集めて対話のサロンを開く
- 2 学生と地域のつながりを深める
- 3 外国人と高校生の交流の場を設ける
- 4 牧之原の1エリアを英語しか使えないまちにする
- 5 地域医療について理解を深めてもらうような医療講演をする
- 6 地域の魅力を発信する
- 7 茶畑の茶摘み体験を目玉にして県外からの観光客を呼び込む
- 8 海外に活き外国人を連れて来て観光地を案内する
- 9 市民ファシリテーター(CLIP)のみんなが儲ける方法を考える
- 10 初めて逢う人と気軽に話せるようになる環境をつくる
- 11 共通の意見を持つ人で団結し、何かを実現する
- 12 校則を変える
- 13 何かしてみたいと思ったときに、その何かを探せる情報提供にシステムをつくる
- 14 地域のママのお手伝いをする
- 15 みんなから出た「探求型」の問いについて、みんなで探求する場をつくる
 - ①ここに住みたいと思う気持ちを強くするためにはどうしたらいいのかを身近な人たちと考えたい
 - ②牧之原市はグローバル化が必要と言われているが、どのくらいグローバル化が進んでいるか調べたい
 - ③県外の人にもわかる「牧之原の魅力」を探してみたい
 - ④あなたが心の底から求める雇用環境とは何か?



PROJECTってどういうこと?

× あれぞうおれが!!!
○ まちと人をプロジェクトはついている

